

令和 3 年度

主な事務事業調

令和3年度 主な事務事業調

No. 1

事業名	シティブランディング戦略事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	5,030 千円			予算書	108 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>令和2年度に設立した「シティブランディングプロジェクト」で実施した市民アンケート調査のデータを基に市民のシビックプライドの向上を実現するため決定したコンセプト及びロゴマークを活用した発信や、地域活性化につながる活動をプロジェクトメンバーと共に推進する。</p> <p>また「ITを活用した心が通う便利で豊かな田舎暮らし」の実現に向けた「舞鶴市SDGs未来都市」の取組や市政情報の効果的な発信に努め「住民到達度100%の広報」を目指すとともに、小・中学生への啓発を引き続き行い、取組の裾野を広げる。</p>					
	事業の内容	<p>【シティブランディングプロジェクト】</p> <p>アンケートを活用した効果的な情報発信とプロジェクトメンバーによる発信</p> <p>プロジェクト会議で、まちの活性化につながる活動を実施、ネットワークの拡大</p> <p>ブランディング計画に沿った舞鶴市のプロモーション</p> <p>【SDGsの内容と、舞鶴市SDGs未来都市としての取組の戦略的広報】</p> <p>小・中学校への出前授業</p> <p>SDGs理解促進のための啓発イベント 等</p>				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	1,320	地方創生推進交付金(1/2)	64		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	1,200	ふるさと応援寄附金	90		
一般財源	2,510					
担当課	広報広聴	課	課長名	三輪 紀子	内線番号	1316

令和3年度 主な事務事業調

No. 2

事業名	行財政改革推進経費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費
事業費	1,000 千円			予算書	108 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>行政サービスや市役所運営が将来に渡って持続可能であり続けるための行財政改革を推進する。</p> <p>その一環として、外部人材の助言を得ながら、ICTやデータ利活用を通じた事務処理の効率化や市民サービスの利便性向上策を検討・試行する。</p>
事業の内容	<p>○事務処理の効率化 データ利活用による事務の効率化や政策立案を推進するため、データ分析ツールの試行導入とデータ利活用スキルの向上に取り組む。</p> <p>○市民サービスの利便性向上 ICTを活用した窓口・相談業務の効率化や利便性向上に効果が期待できるツールの試行導入を検討するなど、調査研究を行う。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	500	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	500		

担当課	改革推進 情報システム	課	課長名	仲川 真広 吉崎 豊	内線 番号	1390 2610
-----	----------------	---	-----	---------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 3

事業名	地元再発見「ふるさと舞鶴」地域学推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	2,100 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>本市が誇る歴史文化をまちの「タカラモノ」として市民に知ってもらうため、令和2年度に整備した地図アプリ（デジタル地図システム）を活用し、公民館講座やまちあるきイベント等を実施することで、地元の知られざる魅力への気づきや、新たな地域資源の掘り起こしを行い、多くの市民が地元を知り、まちへの誇りと愛着心を持った魅力あるまちづくりを目指す。</p>
事業の内容	<p>(1) 地域学セミナーの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史、自然、風俗、まちあるき等テーマごとに講義を構成。 ・テーマごとに、各公民館等が連携して実施 <p>(2) 地図アプリの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「舞鶴鎮守府エリア」と「田辺城城下町エリア」の多層化古地図を公民館講座やまちあるき等に活用 ・市民等からの情報投稿による地図情報アップデートを実施

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		1,600		

担当課	広報文化観光振興課 地域づくり支援 観光振興館	課長名	三輪 紀子 飯田 徹 左織 美紀恵 小畑 真奈美 山下 美晴	内線番号	1316 1225 1230 1261 1260
-----	-------------------------------	-----	--	------	--------------------------------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 4

事業名	＜概要版＞多世代交流施設「まなびあむ」				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	38,450 千円			予算書	110・112 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>旧市民病院西棟をリニューアルし、多世代交流施設「まなびあむ」として令和3年夏に開設。</p> <p>幅広い世代が集い交わることで次世代の地域の担い手づくりを推進するとともに、1Fの地場産品の直売所やカフェ、4Fの若者等交流拠点施設など民間活力を導入しながら、市民の健康増進と多様な交流・賑わいの拠点となることを目指す。</p>			
	事業の内容	<p>1. まなびあむスタートアップ事業費 12,000千円 (No.6)</p> <p>2. 地域資源を活かした多世代交流促進事業費 11,000千円 (No.5)</p> <p>3. まなびあむ管理運営経費 (2, 3F) 15,450千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康づくり、社会参加事業 ・「高齢者の外出・集い・交流の機会増進事業」により使用料負担を軽減 		
内容		<p>(関連事業) 【農林水産業費】食の京都TABLE整備支援事業費補助金 (No.80)</p>		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
財源内訳	国支出金	3,000	地方創生推進交付金 (1/2)	64
	府支出金	2,500	きょうと地域連携交付金 (1/2)	74
	地方債	5,300	総務債	104
	その他	8,584	多世代交流施設使用料 等	56・86・102
	一般財源	19,066		

担当課	企画政策 地域づくり支援 課	課長名	山本 仁士 飯田 徹	内線 番号	1330 1225
-----	-------------------	-----	---------------	----------	--------------

事業名	地域資源を活かした多世代交流促進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	11,000 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	令和3年夏から供用開始予定の旧市民病院西棟に整備する若者等交流拠点と多世代交流施設「まなびあむ」を中心に、市内外の多様な連携や交流促進を図る事業を展開し、賑わいと交流を創出する。			
	事業の内容			
事業の内容	○交流促進事業委託 6,000千円 若者等交流拠点施設と「まなびあむ」を核に実施する交流促進事業の委託（若者等交流拠点運営事業者に委託）			
	○交流促進事業費補助金 5,000千円 交流促進事業の実施に必要となる設備等の整備・購入に対する補助金			
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,000	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	2,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		5,500		
担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士
			内線番号	1330

令和3年度 主な事務事業調

No. 6

事業名	まなびあむスタートアップ事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	12,000 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>幅広い世代が集い交わることで次世代の地域の担い手が生まれ、市民の健康増進の場となる多世代交流施設「まなびあむ」を開設する。</p> <p>開設時のオープニングイベントを行うとともに、ICTを活用した公民館との連携事業、現役世代が地域と関わるきっかけ作りとなる事業等、多世代交流のモデル事業に取り組む。</p>			
	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> オープニングイベント <ul style="list-style-type: none"> ・式典、記念講演 等 ICT環境を活用した多世代交流事業 <ul style="list-style-type: none"> ・リモートによる各公民館との連携事業を図るためのインターネット環境整備 ・受講者が自宅から事業に参加できる環境づくり 等 幅広い世代の交流促進事業 <ul style="list-style-type: none"> ・若者等交流拠点施設とまなびあむを核に市内外の多様な連携や交流促進を実施 ・現役世代が地域と関わるきっかけ作りとなる事業の実施 ・平日18時以降の参加しやすい時間帯に実施 ・講座形式ではなく座談会形式で実施 ・貸室やロビーの環境整備（備品購入等） 		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	5,300	総務債	104
	その他	-		
	一般財源	6,700		
担当課 地域づくり支援 課		課長名	飯田 徹	内線番号 1225

令和3年度 主な事務事業調

No. 7

事業名	地域コミュニティの支援				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 地域づくり推進費
事業費	30,830 千円			予算書	110 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>少子高齢化や個人のライフスタイルの多様化などにより、地域コミュニティの中心である自治会は、会員減少や自治会運営の担い手不足といった課題を抱えている。</p> <p>このような状況の中、地域住民の連帯感を育成し、住みよい地域社会の実現に向け、その基盤となる自治会や自治連合会の活性化に向けた様々な取り組みを支援する。</p>				
	事業の内容	<p>1. 元気なまちづくり事業費・・・・・・・・・・600千円 対象：地域活性化を図る特色ある新たな取組、又は既存事業を充実・発展させる取組 補助率：2/3、補助上限額：500千円</p> <p>2. 地域集会所建設等事業費補助金・・・・・・・・6,030千円 対象：地域集会所の修繕等に対する補助 補助率：1/3 補助上限額：新築・購入 7,000千円 増改築・修繕 5,000千円</p> <p>3. 自治会振興交付金・・・・・・・・・・23,840千円 補助額：800円/世帯</p> <p>4. 舞鶴自治連区長連協議会活動費補助金・・・・・・・・360千円</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
		国支出金	-		
		府支出金	3,300	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		27,530			
担当課 地域づくり支援 課		課長名 飯田 徹		内線番号 1225	

令和3年度 主な事務事業調

No. 8

事業名	文化のまちづくり推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 文化振興費
事業費	4,293 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的
舞鶴市文化振興基本計画に基づき、市民がアートや音楽など文化芸術に触れる機会を創出し、文化を楽しみ創造できるまちづくりに取り組むとともに、子どもを中心とした次世代へ向けてふるさとへの誇りや愛着を醸成し、心豊かに暮らせるまちづくりを推進する。

事業の内容
 ○舞鶴市展2021 赤れんが公募美術展の開催
 市民文化の向上を図るため、洋画・日本画・書・写真・工芸の5部門の公募による展示会を赤れんがパークで実施する。
 ○アートスタート事業
 乳幼児とその保護者を対象に、陶芸体験や作品を使った食育のワークショップ、箏体験など、子どもが初めてアートに触れる機会を創出する。
 ○市の収蔵品を活かしたアート展の開催
 海辺の京都浮世絵コレクションや版画など、市が所蔵する芸術作品の展示や関連するワークショップを行う。
 ○文化の見本市事業
 市内で文化活動を行う文化団体がそれぞれの活動の内容を紹介するとともに、実際に体験できるワークショップを行い、文化の裾野を広げる。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	600	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	340	雑入(市展審査料)	102
	一般財源	3,353		

担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230
-----	------	---	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 9

事業名	大型記念オブジェ「始まりの時」ネクストステージ事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 文化振興費
事業費	1,000 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業目的	<p>市役所玄関前に設置している卵型の大型記念オブジェ「始まりの時」は、平成23年に京都府内全域において開催された「国民文化祭・京都」における舞鶴市での取組として、市民芸術グループ「アノ・ソノ・アート」が中心となり、当時、市内小学4年生等児童が作った陶板約1,100枚を貼り付けるなどして制作したものです。</p> <p>この制作に携わった児童たちが令和4年1月に成人式を迎えることから、これを節目として、「卵が孵化し、人生の次のステージに羽ばたく」をコンセプトとした取組を実施する。</p>				
	事業内容	<p>○成人式において、大型記念オブジェ「始まりの時」の制作過程を動画等で紹介するなど、「卵が孵化する」ためのセレモニーの企画・実施</p> <p>○大型記念オブジェ「始まりの時」の解体</p>			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74	
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	500			
担当課	文化振興課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230

令和3年度 主な事務事業調

No. 10

事業名	文化施設管理運営経費 (総合文化会館管理運営経費及び陶芸館管理運営経費)				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 文化振興費
事業費	107,295 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>令和3年4月から総合文化会館及び陶芸館の管理運営を指定管理者制度から市直営へと切り替え、文化施策と施設運営のダイレクトな連動を可能にする。これにより赤れんがパークなどとの連携の中で、総合文化会館を文化の拠点施設として機能強化し、魅力アップを図るとともに、市民と一体となって本市の文化のレベル向上に取り組み「文化創造都市」の実現を目指す。</p>
事業内容	<p>【総合文化会館管理運営経費】 91,089千円</p> <p>○上質な舞台芸術等の鑑賞機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・劇団四季公演、宝くじまちの音楽会、サイエンスショー、伝統舞踏公演など <p>○文化の拠点施設として市民が文化を楽しむための環境づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化情報の集約と発信、文化団体との連携強化、子どもの文化芸術事業の実施、赤れんがパークから観光客を誘導するしくみづくり <p>【陶芸館管理運営経費】 16,206千円</p> <p>○陶芸館の周知と利用拡大の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陶芸体験、陶芸教室や講座の実施 ・赤れんがパークや総合文化会館などでの出張陶芸体験の実施 ・総合文化会館での陶芸館PRなど

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,300	地域における舞台芸術振興・次世代体験推進事業補助金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	46,822	総合文化会館使用料、陶芸館使用料、雑入(入場料等)	56・102
	一般財源	59,173		

担当課	文化振興	課	課長名	左織 美紀恵	内線番号	1230
-----	------	---	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 11

事業名	引揚記念館整備事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	15,000 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>快適に利用できる施設としての環境改善と設備の長寿命化を図るため、経年劣化が著しい引揚記念館と引揚記念公園に送水している給水ポンプ施設の改修（移設）を行う。</p>
事業の内容	<p>○給水ポンプ施設（受水槽含む）の改修（移設）</p> <p>※給水ポンプ（昭和63年3月設置） 記念館内のトイレや飲食施設、記念公園内のトイレに送水している設備</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	15,000		

担当課	舞鶴引揚記念館	課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836
-----	---------	-----	-------	------	---------

事業名	引揚の史実継承事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	5,211 千円			予算書	112 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>若い世代への継承として教育旅行誘致に積極的に取り組むとともに、中高生語り部の活躍の場を創出することにより、「次世代への継承」から一步進んだ「次世代による継承」を推進する。</p> <p>また、世界記憶遺産登録資料収蔵施設にふさわしい資料の集積、研究、保存、活用を推進するための調査やアーカイブ化の推進、ホームページなどの充実を図り、平和の尊さを広く発信していく。</p>
	<p>【次世代への継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平和学習、教育旅行の誘致 ○平和学習プログラムの研究、開発 ○収蔵資料のアーカイブ化の推進 ○収蔵資料の調査 ○小学生講座の開催(夏休み等) <p>【次世代による継承】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中高生語り部をはじめとする若い世代の活躍の場の創出(同世代との交流の推進、継承事業の企画等)

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,931	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	3,280	ふるさと応援寄附金	90
	一般財源	-		

担当課	舞鶴引揚記念館	課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836
-----	---------	-----	-------	------	---------

令和3年度 主な事務事業調

No. 13

事業名	世界記憶遺産国際ブランド推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	3,700 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的

ユネスコ世界記憶遺産登録資料等を活用し、グローバルな視点で国際平和を願う歴史文化の交流・発信の拠点として、国内外の博物館関係者等との交流、連携の強化を図る。
 また、国内外の教育機関とも協働し、中・高生語り部の活動機会の創出をはじめ「次世代による継承」を推進するとともに、引揚港の歴史を有する全国の都市の協力を得て引き揚げの歴史文化を掘り起こし、国内外への発信を行うことで、舞鶴市及び舞鶴引揚記念館の国際ブランド力の強化に繋げる。

事業の内容

【国内外への情報発信】
 ○引揚関係都市との連携による企画展とプロモーションの実施
 ○引揚体験者証言アーカイブ動画の作成

【国内外の教育機関や博物館との連携による学び・交流の推進】
 ○大学等の教育機関と連携した講演会やワークショップの開催
 ○オンラインを活用した次世代による国際的な交流の場の創出

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	1,800	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,900		

担当課	舞鶴引揚記念館	課長名	山下 美晴	外線番号	68-0836
-----	---------	-----	-------	------	---------

令和3年度 主な事務事業調

No. 14

事業名	世界記憶遺産資料保存活用事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	2,041 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	ユネスコ世界記憶遺産登録資料をはじめとする所蔵資料を後世に 永く引き継いでいくため、白樺日誌や絵画資料などの状態や館内の 保存・展示環境の調査を実施するなど、世界的に重要な資料の保存 と活用の両立を目指す。					
	事業の内容	○白樺日誌・絵画資料等の状態調査の実施 ○保存・展示環境の調査の実施 ○「舞鶴引揚記念館収蔵資料保存活用計画」の改定				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-				
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	2,041	ふるさと応援基金繰入金	92		
一般財源	-					
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	山下 美晴	外線 番号	68- 0836

事業名	舞鶴引揚の日発信事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目
事業費	580 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	世界の恒久平和を切願する引き揚げのまちの歴史を後世に継承するため、引揚第1船入港日を「舞鶴引き揚げの日」とする条例の制定を契機として、令和元年度に発足した『協働で目指す「3年間で市民認知度100%」プロジェクト』が最終年度を迎えるにあたり、引き揚げの日を中心に次世代を担う子ども達への史実の継承やふるさと舞鶴への愛着心の醸成と平和意識の高揚に向けて、認知度100%を目指しさらなる取り組みを推進する。 舞鶴引き揚げの日：10月7日			
	事業の内容	『協働で目指す「3年間で市民認知度100%」プロジェクト』の推進		
○「舞鶴引き揚げの日」の情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・「舞鶴引き揚げの日」に係る特別展示 ・ロゴマークを活用したポスター等広報物の作成 ・協力団体、事業所の募集 ○学校との連携による情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・小、中学校での「舞鶴引き揚げの日・給食（引揚援護局レシピ）」の提供 ・全中学校代表生徒の平和祈念式典への参加 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	200	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	380		
担当課	舞鶴引揚記念館		課長名	山下 美晴
			外線番号	68-0836

事業名	日本遺産プロモーション事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	8,691 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴 ～日本近代化の躍動を体感できるまち～」として認定された日本遺産ブランドを活かし、市民にまちの魅力の再認識を促すとともに、舞鶴鎮守府開庁120年の節目にあわせ、ビヨンド・コロナ時代に対応した観光プロモーションに取り組み、交流人口の増加と観光消費の拡大に努める。</p>					
	事業の内容	<p>旧軍港市日本遺産活用推進協議会と連携し、舞鶴鎮守府開庁120年の節目にあわせて観光プロモーションを展開する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「日本遺産WEEK」の開催 日頃非公開の日本遺産構成文化財を特別に公開（10月） ○海軍食キャンペーンの実施 海軍の食文化やスイーツをテーマにPRイベントを開催 GW 海軍食まつり 夏休み 海軍ラムネまつり 秋 海軍スイーツまつり ○海軍グルメ商品化の促進 海軍の食文化をテーマに市内事業者の商品開発を促す。 				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	4,100	地方創生推進交付金(1/2)	64		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	4,591				
担当課	観光振興	課	課長名	小畑 真奈美	内線番号	1261

令和3年度 主な事務事業調

No. 17

事業名	海軍ゆかりのあゆみ120年事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 歴史資産を活かしたまちづくり推進費
事業費	1,580 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	舞鶴鎮守府開庁（明治34年（1901年））から、120年の大きな節目を迎えるにあたり、舞鶴市が歩んできた歴史や特有の文化を広く伝え、次世代へとまちの歴史・文化等を継承するとともに、海軍ゆかりのまち・舞鶴を広く発信することにより、舞鶴市の魅力を市内外に伝える機会を創出する。			
	事業の内容	舞鶴商工会議所等と連携し、地域一体となって取り組む事業を実施。		
事業の内容		(特別事業) ・東郷平八郎ゆかりの銀杏植樹 ・(仮称)海軍ゆかりの日本遺産シンポジウム等の開催 ・赤れんがパーク等における記念展示 ・近代化遺産等の特別公開 ・海軍ゆかりのグルメイベント 等 (記念事業) ・みなと舞鶴ちゃったまつり「舞鶴鎮守府開庁120年記念事業」 ・舞鶴鎮守府開庁120年記念「舞鶴赤れんがハーフマラソン」 ・日本遺産WEEK「舞鶴鎮守府開庁120年記念事業」		
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
国支出金		282	地方創生推進交付金(1/2)	64
府支出金		500	きょうと地域連携交付金(1/2)	74
地方債		-		
その他		-		
	一般財源	798		
担当課	企画政策 文化振興	課	課長名	山本 仁士 左織 美紀恵
				内線 1330 番号 1230

令和3年度 主な事務事業調

No. 18

事業名	地方創生拠点整備事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	613,770 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	観光戦略拠点「赤れんがパーク」を核として、隣接する海上自衛隊施設との連携を図りながら、周辺一帯を日本海側を代表する一大交流拠点とするため、防衛省の「まちづくり支援事業（補助率7.5/10）」を最大限に活用し、民間活力等を取り入れた整備・開発を推し進める。			
	事業の内容	【令和3年度事業内容】 ○赤れんがパーク周辺整備 <ul style="list-style-type: none"> ・赤れんが博物館前広場等整備 ・海側遊歩道等用地取得、建物移転補償 ・文庫山法面等調査設計 ○民間活力導入に向けた公募実施		
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)
	国支出金	416,602	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金(7.5/10)	64
	府支出金	-		
	地方債	193,500	総務債	104
	その他	3,000	都市開発推進基金繰入金	92
	一般財源	668		
担当課	企画政策	課	課長名 山本 仁士	内線番号 1330

事業名	舞鶴市SDGs未来都市推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	38,433 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	教育機関や企業など、市内外の多様な主体との連携を密にする中で、先進技術の導入による地域交通の利便性向上や防災機能の強化、新たなビジネス機会の創出、市内企業が求める人材育成等に取り組み、SDGs未来都市として目指す持続可能で「ITを活用した心が通う便利な田舎暮らし」の実現に向け、計画段階から実装段階へと移行して事業を推し進める。					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. 共助による移動手段 (meemo) 導入に向けた M a a S 推進事業費 (No.20) 2. リカレント教育調査事業費 (No.21) 3. 赤れんがコワーケーション推進事業費 (No.22) 4. 産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費 (No.23) 5. AI・ロボティクス業務効率化推進事業費 (No.24) 				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	18,831	地方創生推進交付金(1/2)	64		
	府支出金	-				
	地方債	-				
	その他	-				
一般財源		19,602				
担当課	—	課	課長名	—	内線番号	—

令和3年度 主な事務事業調

No. 20

事業名	共助による移動手段 (meemo) 導入に向けたM a a S推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	2,400 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	共助の仕組みによる新たな移動手段 (meemo) の導入を目指し、令和2年度に実施した実証実験の検証結果を踏まえ、今後の新たな交通手段のあり方を検証する。			
	<p>交通事業者の協力を得ながら、地域住民との協働により、地域の実情に応じた取組を推進する。</p> <p>【高野地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマホアプリを活用した住民同士の移動マッチングシステムの導入による移動量増加、利便性向上等の効果検証 ・移動マッチングシステム及び運用体制の構築 <p>【加佐地区】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングシステムの確立に向けたニーズの把握、仕組みの構築検討 			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	960	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		1,440		

担当課	企画政策課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	-------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 21

事業名	リカレント教育調査事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	500 千円			予 算 書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>向学心のある市民が職業上の新しい知識を習得する「リカレント教育（働くことを前提とした学び直し）」を受けることができる環境を構築することにより、市民の能力開発を支援すると同時に市内企業が求める人材育成を図り、持続可能な社会の構築を目指すことができるよう、市内企業において必要とされる人材等について調査を行う。</p>
事業の内容	<p>本市のものづくり産業をはじめとする各業界において必要とされる人材に求められる資格や知識等の習得と、その後の就職支援に関する施策について調査を行う。</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	250	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		250		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 22

事業名	赤れんがコワーケーション推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	18,000 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的

コロナ禍の影響で都市部の企業で働く場所を自由に選択できる仕組みやテレワークなどが推進されるなか、赤れんがコワーキングを新たなビジネス交流やワーケーション事業の拠点とするために、都市部企業を対象としたモニターツアーの実施や市内事業所との交流を促すセミナー、ワークショップを定期的に行う。

また、市内・外の教育機関等と連携した子どもを対象としたワークショップを継続的に開催し、若者がチャレンジできる環境を整えるための拠点として活用する。

- 事業の内容
- 都市部（関西圏・首都圏）企業の誘致（テレワーク・ワーケーション・モニターツアー）
 - 専属スタッフの配置（コワーキング管理運営・広報活動）
 - SDGs 普及促進にむけたリーダーシッププログラムの実践
 - 子ども向けワークショップの開催（プログラミング、電気工作等）
 - 地方で働きたい全国の若者と市内事業所等との雇用マッチング
 - 学生のゼミ合宿誘致、学生交流イベントの実施

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	9,000	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	9,000		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 23

事業名	産官学連携によるICTを活用した防災・減災システム導入事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	12,000 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>近年、気候変動等により浸水被害等が常態化していることを受け、オムロンソーシアルソリューションズ(株)やKDDI(株)、舞鶴工業高等専門学校と連携し、リアルタイムでの浸水映像や水位情報の把握、内閣府が開発している市町村災害対応統合システムの浸水予測データの活用に取り組み、市民への防災情報等の見える化を目指したシステム構築を促進するもの。</p>
事業の内容	<p>○トレイルカメラによる画像データ活用 ・任意の場所に設置・移設が可能なトレイルカメラを5台導入し、浸水が想定される箇所の水位情報をリアルタイムで画像データとして収集し、防災情報ポータルサイトで発信する際に活用する。</p> <p>○防災情報ポータルサイト整備 ・内閣府が開発中の浸水予測データとの連携も見据え、上記の画像データや、位置情報の活用などにより、市民の方々に分かりやすい形で最適な防災情報を発信するためのポータルサイトを産官学が連携して構築する。 (運用開始予定：令和5年頃)</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	5,855	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,145		

担当課	下水道整備 企画政策	課	課長名	東山 直 (浸水対策担当) 山本 仁士	内線 番号	2231 1330
-----	---------------	---	-----	---------------------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 24

事業名	AI・ロボティクス業務効率化推進事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,533 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>先進技術を活用した行財政改革の一環として、令和元年度より実証・実装を開始した「AI-OCR、RPA」の適用範囲をさらに拡大し、業務プロセスの見直しと作業の自動化を進めることで、業務の効率化を加速させる。</p>
事業の内容	<p>【令和2年度AI-OCR、RPA適用事務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市府民税申告書入力事務 ○給与取得者異動届入力事務 ○放課後児童健全育成事業利用申請入力事務 ○就学援助費受給申請書入力事務 ○舞鶴市育成資金交付申請書入力事務 ○遠距離通学請求書入力事務 ○特別定額給付金申請書入力事務（令和2年度）

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,766	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		2,767		

担当課	情報システム 課	課長名	吉崎 豊	内線番号	2610
-----	----------	-----	------	------	------

事業名	＜概要版＞移住定住の推進の取組		
費目	款	総務費、民生費、労働費、農林水産業費、土木費	
事業費	52,551千円	予算書	頁
		事業区分	新規・拡大・継続

事業目的	本市への移住定住の促進を図り、「ITを活用した心を通う便利で豊かな田舎暮らしができるまちづくり」を推進する。		
事業内容	<p>○情報発信（舞鶴を『知ってもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住定住の流れをさらに飛躍させるため、移住定住ガイドブック、ポータルサイトによる情報発信機能等の充実、京都府北部連携都市圏における移住促進事業の推進（主な事業） <p>【総務費】まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費 7,816千円(No.26)</p>		
	<p>○サポート体制の充実（舞鶴を『選んでもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住相談窓口、就職支援、人と人との連携のサポート等 ・新卒者の市内企業への就職を促進（主な事業） <p>【総務費】地域おこし協力隊活動事業費 5,900千円(No.30)</p> <p>【労働費】地元就職・転職支援事業費 1,460千円(No.74)</p>		
	<p>○補助制度等（舞鶴に『住んでもらおう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市が指定する居住誘導区域内で空き家情報バンク制度を通じて空き家を購入もしくは貸借する者が実施する空き家住宅の改修費用に対し、その費用の一部を助成 ・府が指定する移住促進特別区域内で空き家情報バンク制度を通じて空き家に入居する者が負担する改修費、提供する者が負担する準備経費、受入地域に係る支援経費に対する補助等 ・空き家を市が賃貸借しリフォームする「居住促進（お試し）住宅」の設置や東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対する支援（主な事業） <p>【土木費】まちなかエリア定住促進事業補助金 900千円(No.114)</p> <p>【農林水産業費】農村移住・交流促進事業費 14,674千円(No.76)</p> <p>【農林水産業費】漁村移住者受入促進事業費補助金 1,935千円(No.90)</p> <p>【総務費】まちなか暮らし推進事業費 6,366千円(No.28)</p> <p>【総務費】わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金 1,600千円(No.29)</p> <p>（移住希望者も利用可能な補助制度）</p> <p>【民生費】子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費 10,900千円(No.58)</p>		
	<p>○フォローアップ（舞鶴の『良さを広げてもらう』）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住者同士のネットワークを構築しそれを活用したイベント「（仮称）移住者マルシェ」によるワークショップや移住相談会、移住者交流会等を開催 <p>【総務費】新たな交流創造事業費 1,000千円(No.31)</p>		

担当課	移住・定住促進 企画政策 子ども支援 産業創造・雇用促進 農林 水産 都市計画	課	課長名	小西 征良 山本 仁士 新井 秀和 松岡 幸治 坂根 久喜 中井 哲也 吉田 章洋	内線 番号	1326 1330 2150 1212 1240 1210 2320
-----	---	---	-----	---	----------	--

令和3年度 主な事務事業調

No. 26

事業名	まち・ひと・しごと創生総合戦略推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	7,816 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	舞鶴版地方創生の推進を図るため、京都府北部地域（5市2町）との強固な連携による施策の深化を図るとともに、圏域の公共交通の活性化を目指した取組や移住定住の流れを飛躍させる取組を展開する。
事業の内容	<p><京都府北部地域連携都市圏の形成推進> 第2期連携都市圏ビジョンをスタートさせ、府北部5市2町が持つ個性と特徴、豊かな地域資源をもとに、相互のさらなる連携と役割分担により、移住促進事業や合同企業説明会、農商ビジネス商談会など、圏域全体の活性化に資する施策を積極的に推進し、水平連携の深化を図る。</p> <p><公共交通活性化に係る取り組み> 圏域の人口減少や交通事業者の担い手不足等により、公共交通の維持・確保が困難になる中、府北部5市2町が連携し、地域交通のあり方や具体的な施策、目標等を盛り込んだ「地域公共交通計画」を策定し、持続可能な地域交通の実現を目指す。</p> <p><移住定住施策に係る取り組み></p> <ul style="list-style-type: none"> 舞鶴市移住定住推進協議会等のプラットフォーム機能の充実 移住定住に係る情報発信機能の充実（移住ガイドブック、ポータルサイト） 東京や大阪、京都等で開催される移住フェアでの積極的なPR

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,559	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,108	雑入(京都府北部地域連携都市圏公共交通活性化協議会負担金)	102
	一般財源	5,149		

担当課	企画政策 移住・定住促進 課	課長名	山本 仁士 小西 征良	内線 番号	1330 1326
-----	-------------------	-----	----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 27

事業名	整備新幹線誘致推進費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	207 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>日本海側国土軸の形成による国土強靱化、日本海側地域全体の発展に向け、整備新幹線の京都府北部ルート誘致を目指す。</p>
事業の内容	<p>整備新幹線の京都府北部ルート誘致に向け、京都府内をはじめ、山陰地方の自治体、経済団体、同盟会等の団体などと連携した要望活動及び啓発活動等を展開する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	207		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	まちなか暮らし推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	6,366 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的

市外在住の子育て世代をターゲットに舞鶴における新たなライフスタイルを提供し、駅や病院、スーパーなどに近い好立地のまちなかへの定住を促進するため、空き家を利活用し、住民や自治会、舞鶴高専、不動産業者、金融機関等と地域コミュニティを構築して、地域と連携した有効なまちなかの空き家活用を推進する。

事業の内容

舞鶴高専及び自治会長をはじめ、宅建協会等と連携し、空き家を市が直接賃貸借し、リフォームして「居住促進（お試し）住宅」を開設する。

【制度の概要事例】

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,605	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	1,884	雑入(家賃収入)	102
	一般財源	1,877		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	わくわく地方生活実現政策パッケージ移住支援事業費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	1,600 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	東京圏への過度な一極集中の是正及び地域の中小企業等における人材不足の解消を目的として、東京圏から舞鶴市へ移住し就業する者に対して支援を行う。			
	<p>【対象者】 東京圏から舞鶴市へ移住・転入後3ヶ月以上1年以内でかつ就業後3ヶ月以上の者 ※東京圏…東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県</p> <p>【補助額】 ◆単身で移住 60万円 ◆世帯で移住 100万円 (負担内訳：国1/2・府1/4・市1/4)</p> <p>【募集件数】 ◆単身で移住 1件 ◆世帯で移住 1件</p>			
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	800	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	400	移住支援事業補助金(1/4)	74
	地方債	-		
	その他	-		
財源内訳	一般財源	400		
担当課 移住・定住促進 課		課長名 小西 征良	内線番号 1326	

事業名	地域おこし協力隊活動事業費					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	開発促進費
事業費	5,900 千円			予算書	114 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>コロナ禍の影響で今後地方への移住促進が予想される中、新たに全国の優秀な人材から「地域おこし協力隊」を採用し、地元企業のニーズと地方で働きたい全国の若者等との雇用マッチングや移住後のキャリア形成をはじめ、本市の魅力発信等の活動を行い、更なる関係人口の創出及び地方移住を加速させるもの。</p>
事業の内容	<p>○地域おこし協力隊の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元企業と地方で働きたい若者の雇用マッチングとキャリア形成 ・全国版移住ポータルサイト「SMOUT」を活用した広報活動 ・任期：3年（最大） <p>※本事業に対する経費は特別交付税措置の対象</p> <pre> graph LR National[国] -- "特別交付税" --> City[市] City -- "負担金(活動経費)" --> Support[受入団体] Support -- "活動実績等報告" --> City Support -- "報酬" --> Members[隊員] Support -- "活動経費(事務用品等)" --> Members Support -- "出納簿・月報" --> City </pre>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	5,900		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	新たな交流創造事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	1,000 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的

舞鶴への移住を促すため、まずは舞鶴を知ってもらう、次に舞鶴を選んでもらう、そして舞鶴に住んでももらう、さらには移住された方に舞鶴の良さを広げてもらうという4ステップで施策を進めている中、近年、好調である移住者の実績を更に延ばしていくために、舞鶴へ移住してこられた様々な職種や特技を持った方々に舞鶴の良さを広げてもらうため、移住者のネットワークを構築し、それを最大限に活用した様々なイベント等を実施する。

- 事業の内容
- ・ 移住サポーター制度の活用
令和2年度から移住サポーター制度を設け、実際に舞鶴に移住された方の中からサポーターを任命し、市施策に対する助言や協力をいただくとともに、移住希望者及び移住者への情報発信や相談対応、相互の交流促進等の活動を担っていただいている。
 - ・ (仮称) 移住者マルシェの開催
移住者による出店、ワークショップ、座学、移住相談など
 - ・ 移住者交流会の開催
移住サポーターを中心に、移住希望者及び移住者同士の交流促進の場を提供

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,000		

担当課	移住・定住促進 課	課長名	小西 征良	内線番号	1326
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 32

事業名	ふるさと応援推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 開発促進費
事業費	25,018 千円			予算書	114 頁
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	<p>ふるさと納税制度を通じ、本市のまちづくりや魅力に関心を寄せていただく方々の数を増やすとともに、「ITを活用した心を通う便利で豊かな田舎暮らし」ができるまちづくりを推進する。</p>
事業の内容	<p>ふるさと納税に係る地域商社と連携し、特産品等の魅力ある返礼品群を充実させるとともに、ポータルサイト等を活用した情報発信の強化を図り、ふるさと納税の利用をさらに拡大し、「ITを活用した心を通う便利で豊かな田舎暮らし」ができるまちづくりを推進する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	25,000	ふるさと応援寄附金	90
	一般財源	18		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 33

事業名	男女共同参画計画推進事業費				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 男女共同参画推進費
事業費	1,830 千円			予算書	116 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>性別にかかわらず、あらゆる分野において個性と能力を發揮して共に生きる社会を築くため、舞鶴市男女共同参画計画「まいプラン（第3次）」に基づき、男女共同参画社会の実現に向けた取組を推進する。</p> <p>また、「第2次舞鶴市DV対策基本計画」に基づき、配偶者等からの暴力をはじめとしたあらゆる暴力の根絶に向け、啓発活動を実施する。</p>					
	<ul style="list-style-type: none"> ・「まいプラン（第3次）」改訂版の策定 ・男女共同参画講演会の開催 ・男女共同参画セミナーの開催 ・地域や学校等での啓発事業の実施 ・事業所に向けた啓発事業の実施 ・DV防止の啓発 ・男女共同参画情報の発信 					
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	9	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(1/2)	64		
	府支出金	870	人権啓発事業費補助金(1/2) 人権啓発事業委託金	74・84		
	地方債	-				
	その他	5	雑入(託児料)	102		
	一般財源	946				
担当課		人権啓発推進 課	課長名	山本 哲也	内線番号	1272

令和3年度 主な事務事業調

No. 34

事業名	舞鶴市公共交通ネットワーク会議事業費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 交通対策費
事業費	393 千円			予算書	116 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>持続可能な公共交通のあり方検討や利用促進を図るため、「舞鶴市公共交通ネットワーク会議」が地域公共交通計画に基づき実施する公共交通利用促進事業に対して支援を行う。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域公共交通計画（令和3年2月策定）に基づく、公共交通利用促進事業の実施 ・JRポケット時刻表、路線バスマップ等作成

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	393		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 35

事業名	北近畿タンゴ鉄道支援事業費補助金					
費目	款	総務費	項	総務管理費	目	交通対策費
事業費	83,490 千円			予算書	116 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>京都丹後鉄道の線路・車両等の基盤等保有会社である北近畿タンゴ鉄道が、運行の安全を確保するために実施する事業等に対し、国及び沿線自治体（2府県及び5市2町）により支援を行う。</p> <p>また、京都丹後鉄道の利用促進のため沿線市町（6市2町）で構成する「京都丹後鉄道利用促進協議会」の運営のため、分担金を負担する。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 北近畿タンゴ鉄道基盤管理補助 基盤管理委託料、管理経費分に対する補助 北近畿タンゴ鉄道経営対策補助 固定資産税相当額分、西駅交流センター賃借料分に対する補助 北近畿タンゴ鉄道基盤整備補助 北近畿タンゴ鉄道の実施する安全性の向上に資する鉄道施設の設備投資・更新に対する補助 協議会分担金等

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	23,800	総務債	104
	その他	-		
	一般財源	59,690		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	バス路線維持確保対策費補助金				
費目	款	総務費	項	総務管理費	目 交通対策費
事業費	92,200 千円			予算書	116 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>市民生活の移動手段として重要な役割を果たすバス路線の維持確保を図るため、国、府と共に支援を行う。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 京都交通バス路線への補助 高浜線、大江線（2路線）、東西循環線（2路線）、常・溝尻循環線、和田線、朝来循環線、三浜線（2路線）、田井野原線（5路線）、長浜循環線、真倉線、市場循環線 ・ 自主運行バス路線（7地域）への補助 岡田上バス、岡田中バス、池内バス、西大浦バス、青井校区バス、杉山・登尾バス、多門院バス

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	30,450	市町村運行確保生活路線維持費補助金(1/2)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	61,750		

担当課	企画政策	課	課長名	山本 仁士	内線番号	1330
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 37

事業名	マイナンバーカード交付促進事業費				
費目	款	総務費	項	戸籍住民基本台帳費	目 戸籍住民基本台帳費
事業費	16,832 千円			予算書	122 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的

デジタル社会に不可欠なマイナンバーカードについて、国は令和4年度末にほぼ全国民が保有している状況を目指しており、本市においても令和元年度に策定した「マイナンバーカード交付円滑化計画」の改訂を行った。

計画に基づき、令和4年度末にマイナンバーカードの交付率100%を目指すため、申請時来庁方式や、出張申請受付等のさらなる強化を図り、マイナンバーカードの交付を促進する。

事業の内容

【受付方法】

- 申請時来庁方式
通常のカード交付時に窓口で本人確認等を行う交付時来庁方式に加え、申請時に窓口で本人確認等を行い、後日、本人限定受取郵便でカードを送付する方式
- 出張申請受付方式
官公庁・企業等へ市職員が直接出向いて本人確認等受付を行い、後日、本人限定受取郵便でカードを送付する方式
⇒令和2年度実績 出張申請受付件数…890件 (令和3年2月2日現在)

※参考 舞鶴市マイナンバーカード交付状況…交付枚数20,338枚、
交付率24.8% (令和3年1月24日現在)
【令和3年度目標 交付枚数55,775枚 交付率68.0%】

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	16,832	個人番号カード交付事務費補助金(10/10)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	市民総務課	課長名	浜本 知子 濱上 輝彦 (マイナンバーカード普及利活用促進担当)	内線 番号	1120 1358
-----	-------	-----	--	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 38

事業名	生活困窮者自立相談支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 社会福祉総務費
事業費	12,066 千円			予算書	132 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	社会的に孤立になりがちな生活困窮者等の早期自立に向け、それぞれの状況に応じた包括的・継続的な相談支援体制を構築するとともに、生活困窮者自立支援法に基づく各種事業を実施する。			
事業の内容	自立相談支援事業費	5,809	千円	
	住居確保給付金事業費	1,944	千円	
	就労準備支援事業費	3,595	千円	
	一時生活支援事業費	193	千円	
	家計改善支援事業費	525	千円	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金		8,687	生活困窮者自立相談支援事業費等負担金(3/4)
生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(2/3)				64
府支出金		-		
地方債		-		
その他		-		
一般財源		3,379		

担当課	福祉援護	課	課長名	小寺 雅之	内線番号	2101
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	外国人介護人材確保支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉総務費
事業費	600 千円			予算書	132 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>不足する介護人材の確保については、日本人のみならず外国人もその担い手として捉える必要がある。</p> <p>外国人留学生向けに他の介護福祉士養成校にはない生活費支援制度を設けることで、留学生が学習に専念する時間が確保できることにより、他の養成校と差別化を図り、舞鶴YMCA国際福祉専門学校（以下「YMCA」という。）で学び、舞鶴市内の介護施設で働く外国人介護福祉士の拡大を目指す。</p>
事業の内容	<p>【外国人留学生生活費支援金】 600,000円 外国人留学生に本制度をアピールし、YMCAへの入学を促進 25,000円/人・月×12か月×2名分</p> <p>【制度の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> 貸付額は一人月額25,000円（YMCAの履修期間2年間を上限） 市がYMCAへ貸付金を預託し、これを原資としてYMCAが外国人留学生に生活費を貸し付ける。 卒業後、舞鶴市内の福祉施設に就職すれば、貸し付けた額の半額は当該施設が負担する。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	600	外国人介護人材確保支援制度貸付金収入	100
	一般財源	-		

担当課	福祉企画課	課長名	新谷 寿美子	内線番号	2290
-----	-------	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 40

事業名	障害者自立支援給付費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費 児童福祉費	目 社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費 児童福祉措置費
事業費	2,110,742 千円			予算書	134・136 頁
				事業区分	・138・148 新規・拡大・ 継続

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、障害者総合支援法に基づく下記の事業を実施するもの。					
	<p>【自立支援給付】</p> <p>施設支援給付費 1,574,280千円</p> <p>短期入所（ショートステイ）給付費 30,200千円</p> <p>居宅介護（ホームヘルプ）給付費 95,900千円</p> <p>障害者共同生活援助給付費（グループホーム） 222,700千円</p> <p>重度視覚障害（児）者同行援護給付費 17,769千円</p> <p>障害者計画相談支援給付費 35,044千円</p> <p>障害者虐待防止支援事業費 100千円</p> <p>【自立支援医療給付（更生医療・育成医療等）】 109,749千円 [更生医療 107,800千円、育成医療（児童福祉措置費） 1,949千円]</p> <p>【補装具給付】 25,000千円</p>					
事業の内容	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書		
	国支出金	1,054,479	障害者介護給付・訓練等給付費負担金(1/2) 障害者医療費(育成医療)負担金(1/2)ほか	62		
	府支出金	527,989	障害者介護給付・訓練等給付費負担金(1/4) 障害者自立支援医療費(育成医療)負担金(1/4)ほか	72		
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	528,274				
担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援 課		課長名	島田 敦司 新井 秀和	内線 番号	2130 2150

事業名	医療的ケア児（者）支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉援護費
事業費	7,426 千円			予算書	136 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	日常的に人工呼吸器を必要とする医療的ケア児者と看護に携わる家族の負担軽減や日中活動の促進に向けた施策として、居宅生活支援、短期入所利用促進支援、災害時等の非常時に備えた非常用電源の給付支援などの支援を実施する。			
	【事業概要】 ①居宅生活支援事業【移動支援、レスパイト（休息）支援】 3,241千円 ・福祉タクシー利用券交付（通院等外出支援） ・入院時コミュニケーション支援（付添としてヘルパーを派遣） ・居宅医療的ケア児支援（居宅等に看護師を派遣） ②医療的ケア児者等短期入所利用促進事業 3,485千円 ・短期入所受入体制補助 ・短期入所開始アセスメント補助 ・相談支援専門員モニタリング補助 ③日常生活用具給付事業 700千円 ・日常生活用具として、非常用電源を給付			

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	1,776	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	64
	府支出金	2,630	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4) 医療的ケア児者・重度心身障害児者福祉サービス利用等促進事業補助金(1/2) ほか	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	3,020		

担当課	子ども支援 障害福祉・国民年金 課	課長名	新井 秀和 島田 敦司	内線 番号	2150 2130
-----	----------------------	-----	----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 42

事業名	障害者地域生活支援事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉援護費 身体障害者福祉センター費
事業費	120,140 千円			予算書	136・138 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	障害者の自立と社会参加を図るため、下記の市町村独自事業を実施するもの。																		
	<p>【地域生活支援事業】</p> <table border="0"> <tr> <td>障害者相談支援事業費 (4か所の障害者支援センターによる相談支援)</td> <td>24,000千円</td> </tr> <tr> <td>地域活動支援センター事業費</td> <td>30,000千円</td> </tr> <tr> <td>障害者等移動支援事業費 (重度身体障害者等の移動支援)</td> <td>4,680千円</td> </tr> <tr> <td>聴覚言語障害者等支援事業費 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣)</td> <td>16,270千円</td> </tr> <tr> <td>日常生活用具給付事業費</td> <td>26,200千円</td> </tr> <tr> <td>障害(児)者日中一時支援事業費</td> <td>10,840千円</td> </tr> <tr> <td>心身障害者訪問入浴サービス事業費</td> <td>8,050千円</td> </tr> <tr> <td>成年後見制度利用支援事業費</td> <td>100千円</td> </tr> </table>				障害者相談支援事業費 (4か所の障害者支援センターによる相談支援)	24,000千円	地域活動支援センター事業費	30,000千円	障害者等移動支援事業費 (重度身体障害者等の移動支援)	4,680千円	聴覚言語障害者等支援事業費 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣)	16,270千円	日常生活用具給付事業費	26,200千円	障害(児)者日中一時支援事業費	10,840千円	心身障害者訪問入浴サービス事業費	8,050千円	成年後見制度利用支援事業費
障害者相談支援事業費 (4か所の障害者支援センターによる相談支援)	24,000千円																		
地域活動支援センター事業費	30,000千円																		
障害者等移動支援事業費 (重度身体障害者等の移動支援)	4,680千円																		
聴覚言語障害者等支援事業費 (手話通訳者の設置、要約筆記者等の派遣)	16,270千円																		
日常生活用具給付事業費	26,200千円																		
障害(児)者日中一時支援事業費	10,840千円																		
心身障害者訪問入浴サービス事業費	8,050千円																		
成年後見制度利用支援事業費	100千円																		
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書															
	国支出金	47,524	障害者地域生活支援事業費補助金(1/2)	64															
	府支出金	23,761	障害者地域生活支援事業費補助金(1/4)	74															
	地方債	-																	
	その他	-																	
一般財源		48,855																	
担当課	障害福祉・国民年金 子ども支援	課	課長名	島田 敦司 新井 秀和	内線 番号	2130 2150													

令和3年度 主な事務事業調

No. 43

事業名	障害者しごとサポートセンター運営事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	社会福祉援護費
事業費	3,242 千円			予算書	136 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	障害者が住み慣れた舞鶴で心豊かに働き、就労を通じて社会に貢献する喜びを感じていただくために、就労の機会の創出を図り、長期にわたって就労することができるよう、障害者を雇用する事業所や障害者を支援するための取組を行う。				
	事業の内容	「舞鶴市障害者しごとサポートセンター」による、障害者の一般就労に必要な取組を行う。			
事業の内容		①障害者雇用企業、実習実施事業所の開拓や障害者雇用に対する理解促進のための啓発活動 ②障害者雇用事業所に対する定着支援に関する出前講座の実施 ③ハローワークや障害者就業・生活支援センターわかば等障害者雇用の支援機関との連携 ④支援学校等に進学している学齢期の障害者就労支援に向けた検討			
	財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	
国支出金		-			
府支出金		-			
地方債		-			
その他		-			
一般財源		3,242			

担当課	障害福祉・国民年金 課	課長名	島田 敦司	内線番号	2130
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 44

事業名	後期高齢者医療療養給付費負担金・後期高齢者医療事業会計繰出金				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 老人福祉費
事業費	1,323,978 千円			予算書	138・140 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	75歳以上の高齢者等を対象とした後期高齢者医療制度に係る経費のうち、京都府後期高齢者医療広域連合へ納める負担金等
事業の内容	<p>○後期高齢者医療療養給付費負担金 971,571千円 医療費の1/12 (京都府後期高齢者医療広域連合への負担金)</p> <p>○後期高齢者医療事業会計繰出金 352,407千円 ・保険基盤安定分 292,696千円 ・事務費分 59,711千円</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	219,521	後期高齢者医療保険基盤安定負担金(3/4)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	1,104,457		

担当課	保険医療	課	課長名	樋口 誠	内線番号	2160
-----	------	---	-----	------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 45

事業名	地域老人健康・生きがい対策事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	在宅老人対策費
事業費	1,469 千円			予算書	140 頁	
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続	

事業の目的	<p>高齢者が地域社会において、知識と経験を活かし各種活動を行うことにより、社会参加と仲間づくりを促進し、健康及び生きがいの充実を図る。</p>
事業の内容	<p>高齢者の生きがいづくり及び健康づくりの推進を図るために、舞鶴市老人クラブ連合会が行う次の事業に対し補助を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康づくり・介護予防支援事業 ・地域支え合い事業 ・60歳から70歳前半までの若手高齢者組織化・活動支援事業 <p style="text-align: right;">計 657千円</p> <p><新規></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村老連活動支援体制強化事業 812千円 <p>上記事業の円滑な実施及び企画立案や、入会促進・広報の充実を図るため、新たに推進員を設置する経費の一部を助成する。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	954	在宅福祉事業費補助金(2/3)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	515		

担当課	高齢者支援課	課長名	小酒 由美子	内線番号	2140
-----	--------	-----	--------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 46

事業名	高齢者外出支援事業費				
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目 在宅老人対策費
事業費	19,350 千円			予算書	140 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	<p>75歳以上の高齢者が外出しやすい環境をつくるため、高齢者が公共交通機関を利用する際の料金を支援する。</p> <p>(期待する効果)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の外出を支援し、健康増進に寄与する。 ・高齢者の外出により、消費活動を促し地域活性化に寄与する。
	<p>交通事業者と協力して、高齢者の外出支援を行う。</p> <p>【事業内容】 75歳以上の高齢者を対象に、交通事業者と協力して、運賃の補助制度を設ける。</p> <p>【補助対象】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス（京都交通バス、自主運行バス） ・タクシー（舞鶴京都タクシー、日交タクシー、ふく福タクシー、介護専門タクシー） ・京都丹後鉄道

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	3,562	地方創生推進交付金(1/2)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	12,226	雑入(利用者負担金)	102
	一般財源	3,562		

担当課	高齢者支援課	課長名	小酒 由美子	内線番号	2140
-----	--------	-----	--------	------	------

事業名	人権教育・啓発推進計画策定経費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	590 千円			予算書	142 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	平成23年度に策定した「舞鶴市人権教育・啓発推進計画」が令和3年度で終了することから、これまでの取組を踏まえ、課題等を明らかにし、必要な見直しを行うとともに、人権意識の向上のための教育及び啓発を計画的かつ継続的に進めるための新たな計画を策定する。				
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・（仮称）人権教育・啓発推進計画審議会の開催 ・人権教育・啓発推進計画の印刷等 			
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-			
	府支出金	295	人権啓発事業費補助金(1/2)	74	
	地方債	-			
	その他	-			
	一般財源	295			
担当課	人権啓発推進課	課長名	山本 哲也	内線番号	1272

事業名	人権啓発事業費					
費目	款	民生費	項	社会福祉費	目	人権啓発費
事業費	2,331 千円			予算書	142 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	市民一人ひとりの人権が尊重される地域社会を築くため、「舞鶴市人権教育・啓発推進計画」に基づき、広く市民に人権の大切さを訴えるなど、人権意識の向上を図るための啓発を行う。					
	事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「人権のつどい」の開催 ・人権啓発講演会等の開催 ・人権啓発グッズ作成、配布 ・人権の花運動の実施（小学校、幼稚園等） 等				
財源内訳		区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）		予算書
	国支出金	-				
	府支出金	1,498	人権啓発事業費補助金(1/2) 人権啓発事業委託金		74 84	
	地方債	-				
	その他	-				
	一般財源	833				
担当課		人権啓発推進課	課長名	山本 哲也	内線番号	1272

事業名	保育所・認定こども園運営事業（全体）				
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目 児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	2,108,702 千円			予算書	146・148・150・ 152・228 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>「子ども・子育て支援事業計画」に基づき、必要な保育サービスの提供量の確保及び質の向上を図り、より良好な保育の環境づくりを推進する。また、「幼保連携型認定こども園」への移行を着実に推進することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。</p>		
事業の内容	<p>1. 民間認可保育園（2園・定員 150人） ① 保育委託事業費 186,339千円 2. 民間認定こども園（12園・定員 1,172人） ② 施設型給付費（2・3号） 1,037,191千円 ③ 施設型給付費（1号）〈教育費〉 241,470千円 3. 民間認可保育園・民間認定こども園に対する各種事業 拡④ 保育士の処遇改善事業費補助金 33,216千円 ⑤ 保育の質の向上に係る保育士確保支援事業費補助金 2,880千円 新⑥ 保育士就労奨励事業費【No. 51】 6,200千円 ⑦ 保育士の就業促進補助金 4,386千円 新⑧ 保育利用児童受入促進事業費【No. 50】 20,850千円 ⑨ 一時預かり事業費補助金〈民生費・教育費〉 30,606千円 ⑩ 延長保育促進事業費補助金 6,629千円 ⑪ 保育所等発達支援事業費補助金 17,091千円 ⑫ 保育所等運営・人材確保基盤強化支援事業補助金 4,490千円 ⑬ 保育所等施設整備資金借入金利子補給金 862千円 4. 公立保育所（2保育所・定員350人） ⑭ 運営費 390,993千円 5. 公立認定こども園（1園・定員93人） ⑮ 運営費 125,499千円</p>		

区分	金額(千円)	歳入名称（補助率等）	予算書
財源内訳			
国支出金	736,495	子どものための教育・保育給付交付金（1/2、56.835/100）他	62・64・68
府支出金	402,383	子どものための教育・保育給付交付金（21.5825/100、1/4）他	72・74・76・82
地方債	-		
その他	77,669	保育所保育料、保育所使用料、認定こども園使用料、雑入（給食代）他	54・56・102
一般財源	892,155		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	保育利用児童受入促進事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	20,850 千円			予 算 書	146 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>満3歳未満児における保育ニーズの増加に対応するため、長時間保育を必要とする子どもを「幼稚園」で受け入れる体制を確保し、待機児童の早期解消を図る。</p>
	<p>保育の必要性があるが保育施設（認可保育所・認定こども園）への入所ができない子どもを対象として、市内の私立幼稚園において、一定期間の継続的な保育（定期利用保育）を実施する。</p> <p>【対象児童】 1歳児または2歳児 （ただし、保育施設への入所が保留となった児童に限る。）</p> <p>【実施予定施設】 市内の私立幼稚園 ※ 5～6園程度を予定</p> <p>【利用料金】 各施設の園則に準じる ※ ただし、保育施設の利用者負担額（保育料）に沿った金額設定となるよう要請</p>

財源	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
内訳	国支出金	6,950	子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
	府支出金	6,950	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	6,950		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	保育士就労奨励事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 児童福祉措置費
事業費	6,200 千円			予 算 書	148 頁
				事業区分	新規・拡大・継続

事業の目的	<p>満3歳未満児における保育ニーズが依然として高い状況の中、直面する保育士不足の課題に対応するため、認可保育所・認定こども園に採用される保育士へのインセンティブ制度を導入することにより、保育士の就業促進を図るとともに、待機児童の早期解消を図る。</p>
事業の内容	<p>民間保育園・民間認定こども園（3号認定子どもの利用定員を設定している施設に限る）に、常勤保育士として採用された方に対して、就労奨励金を支給する。</p> <p>① 就労奨励金： 20万円 ② 転入奨励金： 20万円 ③ 復職奨励金： 10万円</p> <p style="text-align: right;">} 最大 50万円</p> <p>ただし、市内の保育所等を離職した方が復職する場合は、離職から1年以上の期間を経過していることを要件とする。</p> <p>※ ①～③いずれも、保育士1人につき1回限りとする。</p> <p>※ 採用後、2年以内に退職した場合は全額返還が必要。</p>

財源内訳	区 分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	6,200	ふるさと応援寄附金	90
	一般財源	-		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名	(再掲) 認定こども園への移行について				
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目 児童福祉措置費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	1,404,160 千円			予 算 書	148・152・頁 228
				事業区分	新規 (拡大) 継続

事業の目的	保育の質の向上につながる環境づくりを推進する中、私立幼稚園のうち1園が、令和3年度から新たに「幼保連携型認定こども園」に移行することにより、0歳から就学前までの一貫した子どもの育ちや学びを支援する教育・保育体制のさらなる充実を図る。			
	事業の内容	1. 【公立】 認定こども園 (舞鶴こども園) <<定員: 93人>> 施設運営費 125,499千円 2. 【民間】 認定こども園 <<定員: 1,172人>> (民生費) 施設型給付費 (2・3号) 1,037,191千円 (教育費) 施設型給付費 (1号) 241,470千円 《令和3年度移行園》 森の子ら幼稚園 <<定員: 30人>> ※ 令和3年度施設数 ・認可保育所 公立2園 民間 2園 計 4園 ・認定こども園 公立1園 民間12園 計13園 ・幼稚園 公立0園 民間10園 計10園		

財源内訳	区 分	金 額(千円)	歳 入 名 称 (補 助 率 等)	予算書
財源内訳	国支出金	620,166	子どものための教育・保育給付交付金 (1/2、56.835/100) 他	62・64
	府支出金	315,842	子どものための教育・保育給付交付金 (21.5825/100、1/4) 他	72・74・82
	地方債	-		
	その他	11,271	認定こども園使用料、雑入 (給食代) 他	54・56・102
	一般財源	456,881		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

事業名		乳幼児教育充実・強化推進事業費			
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目 児童福祉措置費 保育所費 認定こども園費 幼稚園費
事業費	10,304 千円			予算書	146・150・頁 152・228
				事業区分	新規・拡大 (継続)

事業の目的	<p>「主体性を育む乳幼児教育の推進」を基本理念とする乳幼児教育ビジョンに基づき、市民の乳幼児教育への理解を深め、保育者・教員の研修による質向上を図るとともに、保育所・幼稚園・認定こども園から小学校へのさらに円滑な接続とするため、保幼小連携の一層の充実を図ることにより、“乳幼児期の豊かな成長への支援”を強化する。</p> <p>また、「舞鶴市乳幼児教育センター」を拠点とし、当該ビジョンに基づいた乳幼児教育の実践の推進や情報発信、保育者の育成強化等に取り組むことで当該ビジョンの具現化をさらに推し進め、乳幼児教育の充実を目指す。</p>																
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ■ 乳幼児教育ビジョン及びビジョンに基づく実践の周知・情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター等の発行：8回 ・出前講座等の実施：4回 ■ 乳幼児教育の質の向上研修 <ul style="list-style-type: none"> ・公立・私立の保育者・教員が共に学ぶ研修等の実施 (子どもを主体とした保育、保幼小連携等) 講演会：1回 公開保育：5回 その他 研修：6回 ・研究指定園：2園 ■ 保幼小中接続カリキュラムの活用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・連携協力園・校の連携活動の充実・強化 ■ 「乳幼児教育センター」の運営 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児教育コーディネーター・相談員の配置 ・センター運営会議の開催 3回 等 																
内容	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="border: none;">【民生費】</td> <td style="border: none;">児童福祉措置費 (民間保育園・民間認定こども園)</td> <td style="border: none;">800千円</td> <td rowspan="4" style="border: none; vertical-align: middle;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">保育所費 (公立保育所)</td> <td style="border: none;">390千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">認定こども園費 (公立認定こども園)</td> <td style="border: none;">150千円</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">【教育費】</td> <td style="border: none;">幼稚園費 (乳幼児教育全般)</td> <td style="border: none;">8,964千円</td> </tr> </table>				【民生費】	児童福祉措置費 (民間保育園・民間認定こども園)	800千円			保育所費 (公立保育所)	390千円		認定こども園費 (公立認定こども園)	150千円	【教育費】	幼稚園費 (乳幼児教育全般)	8,964千円
【民生費】	児童福祉措置費 (民間保育園・民間認定こども園)	800千円															
	保育所費 (公立保育所)	390千円															
	認定こども園費 (公立認定こども園)	150千円															
【教育費】	幼稚園費 (乳幼児教育全般)	8,964千円															
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書													
	国支出金	4,651	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費補助金(1/2)、教育支援体制整備事業費交付金(1/2)	64・68													
	府支出金	-															
	地方債	-															
	その他	-															
	一般財源	5,653															
担当課		幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471											

事業名	施設等利用費（幼児教育・保育の無償化による給付）				
費目	款	民生費 教育費	項	児童福祉費 幼稚園費	目 児童福祉措置費 幼稚園費
事業費	353,738 千円			予算書	148・228 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	幼児教育・保育の無償化の実施に伴い、幼稚園、認可外保育施設等の利用料を給付することにより、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。			
	① 幼稚園	327,830千円		
	満3歳から5歳までの全ての子どもについての利用料を無償化。 月額上限額 25,700円			
	② 幼稚園・認定こども園の預かり保育 (1号認定子ども)	19,908千円		
事業の内容	保育の必要性の認定を受けた、3歳から5歳までの全ての子ども (月額上限額 11,300円) 及び満3歳の住民税非課税世帯の子ども (月額上限額 16,300円) についての利用料を無償化。			
	③ 認可外保育施設、一時預かり、病児保育	6,000千円		
事業の内容	保育の必要性の認定を受けた、3歳から5歳までの全ての子ども (月額上限額 37,000円) 及び0歳から2歳までの住民税非課税世帯 の子ども (月額上限額 42,000円) についての利用料を無償化。			

区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
国支出金	176,869	子育てのための施設等利用給付交付金(1/2)	62
府支出金	88,434	子育てのための施設等利用給付交付金(1/4)	72
地方債	-		
その他	-		
一般財源	88,435		

担当課	幼稚園・保育所 課	課長名	川崎 弘史	内線番号	2471
-----	-----------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 55

事業名	障害児通所給付費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	児童福祉措置費
事業費	254,050 千円			予算書	148 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	児童福祉法に定める障害児通所支援である児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援により、幼児期、学齢期（小・中・高校）の障害児の生活能力向上のための訓練、社会との交流促進等を継続的に提供し、障害児の自立を促進する。			
	事業の内容	≪事業概要≫ ◎児童発達支援【3事業所】 未就学児に対し、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練を実施する。		
◎放課後等デイサービス【9事業所】 就学児童や重症心身障害児童に対し、生活能力の向上のために必要な訓練や社会との交流促進を実施する。				
◎保育所等訪問支援【2事業所】 専門職員が対象施設（保育所、幼稚園、小学校等）を訪問し、集団生活適応訓練等や、対象施設職員への支援を実施する。				

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	126,668	障害児施設給付費等負担金(1/2)	62
	府支出金	63,334	障害児施設給付費等負担金(1/4)	72
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	64,048		

担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 56

事業名	子育て支援施策の取組				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	60,118 千円			予算書	150 頁
				事業区分	新規・拡大 継続

事業の目的	<p>社会環境が大きく変化し、ライフスタイルの多様化等により、子育てに負担や不安を抱える親が増加している現状に対応するため、親子が精神的に厳しい状況に追い込まれてからの「虐待対応・早期発見」ではなく、「予防」の視点を強化し、親のストレスが子どもに向かうことがないように、親自身の潜在力を引き出す取組を強化する。</p> <p>また、子育て交流施設「あそびあむ」については、令和3年2月策定の『子育て交流施設「あそびあむ」これからの運営方針』に基づき、子どもの豊かな成長と親子の絆を重視した様々な事業を拡充・展開する。</p>			
	事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 子育て支援基幹センター運営経費 6,364千円 <ul style="list-style-type: none"> ・妊娠期からの安心の繋がり体制の構築 ・家庭の子育て力の向上 ・これから親になる世代への取組 2. 子育て交流施設（あそびあむ）管理運営経費 27,975千円 <ul style="list-style-type: none"> ・多世代の参画促進など、共生による子育て支援の推進 ・市民が主体となる組織（NPO）との共同による事業運営 ・「どこでもあそびあむ事業」（舞鶴の資源、風土を活用した遊びの充実）や、SNSを活用した情報発信など、新しい取組の展開 3. 地域子育て支援拠点運営経費（市内4か所） 19,055千円 <ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流の場や相談、情報提供、講座等の実施 ・家庭訪問等による孤立しがちな家庭へのアプローチ 4. ファミリー・サポート・センター事業費 5,500千円 <ul style="list-style-type: none"> ・産前・産後期の訪問支援の実施 ・一時預かりや育児支援の実施 5. こんにちは赤ちゃん事業費 1,224千円 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の見守りによる孤立予防 		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	11,519	子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
	府支出金	11,519	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
	地方債	-		
	その他	2,097	子育て交流施設入館料、雑入(託児料)	56・102
	一般財源	34,983		

担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 57

事業名	放課後児童健全育成事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	110,898 千円			予算書	150 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>平日の放課後や土曜日、学校の長期休業期間等に学校施設等を利用して児童を安全に預かるとともに、支援体制の充実を図り、児童の健全育成並びに保護者の仕事と子育ての両立支援に取り組む。</p> <p>令和3年度においても、引き続き通年開設している児童クラブのほか、夏休みに限定した児童クラブを実施するなど、児童の安心安全な預かり、保護者の家庭と仕事の両立支援を図る。</p>
事業の内容	<p>1 事業委託先・実施場所 [通年開設クラブ 計 29クラブ]</p> <ul style="list-style-type: none"> 各小学校区の地域子育て支援協議会 (全18小学校区26クラブ、各小学校の余裕教室等) 社会福祉法人舞鶴双葉寮 (児童センターふたば、桃山町) 社会福祉法人瑞光福祉会 (めだかクラブ、公文名) 社会福祉法人大樹会 (南舞鶴放課後児童クラブ、行永) <p>2 開設日</p> <ul style="list-style-type: none"> 平日 (月～金) : 放課後～午後6時30分まで 土曜日、長期休業日 : 午前8時～午後6時30分まで <p>3 保護者負担金</p> <ul style="list-style-type: none"> 年額 72,000円 (2子目以降は半額) ※生活保護世帯には全額、市民税非課税世帯には、半額を補助 <p>4 放課後児童クラブ運営の質の向上に資する取組</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後児童支援員の京都府認定資格研修の受講促進等 <p>5 夏休み児童クラブの設置 (2ヶ所=東地域:1ヶ所、西地域:1ヶ所)</p> <p>(1) 委託先: 公益社団法人舞鶴市シルバー人材センター (予定)</p> <p>(2) 保護者負担金 11,000円 (2子目以降は半額)</p> <p>※生活保護世帯には全額、市民税非課税世帯には、半額を補助</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	34,612	子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
	府支出金	34,612	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
	地方債	-		
	その他	-		
一般財源		41,674		

担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 58

事業名	子育て世帯住宅リフォーム等支援事業費				
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目 子育て支援費
事業費	10,900 千円			予算書	150 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	総合計画に掲げる「子育て環境日本一を目指すまち」を推進するための事業の一環として、子育て世帯が住環境を整えるための経済的支援や親子三世代同居・近居を促し子育て負担の軽減を図るとともに、市外からのUターンを促すことを目的に実施する。				
	親との（三世代）同居を促すことで、子育て（多子・三世代）世帯の経済的、育児に係る負担の軽減を図り、子育てしやすいまちづくりに努める。 【対象】 ・多子世帯（子ども3人以上がいる世帯） ・三世代近居を新たに始める世帯 ・三世代同居を新たに始める世帯 【補助額】 ・住宅リフォーム工事 事業費×1/2（限度額100万円） ・住宅購入仲介手数料 事業費×1/2（限度額40万円） ・住宅賃借仲介手数料 事業費×1/2（限度額5万円）				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書	
	国支出金	-			
	府支出金	5,450	京都府結婚・子育て応援住宅総合支援事業費補助金(1/2)	76	
	地方債	-			
	その他	-			
一般財源		5,450			
担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150

事業名	子ども総合相談センター運営経費					
費目	款	民生費	項	児童福祉費	目	子育て支援費
事業費	18,388 千円			予算書	150 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>安心して子どもを産み育てることができるよう、妊娠期から出産・子育て期、さらには18歳までの子どもに関わる様々な悩みや相談、支援をワンストップで提供する「子どもなんでも相談窓口」において、子育て支援基幹センター、保健センターと連携し、3センターが一つのチームとなって切れ目のない子育て支援を実施する。</p>
事業内容	<p>1. 子ども総合相談センターの事業内容</p> <p>(1) 育児、養護、不登校、非行、児童虐待等、子どもに関する様々な悩みや相談に関係機関と連携して対応し支援を行う。</p> <p>(2) 要保護児童対策地域協議会の調整機関として、要保護(児童虐待)ケース、要支援ケース、特定妊婦に関係機関と連携して対応し支援を行う。</p> <p>2. 市町村子ども家庭総合支援拠点による相談・支援体制の充実</p> <p>(1) 児童虐待の発生予防から自立支援までを総合的に対応する市町村子ども家庭総合支援拠点の機能を有する「子どもなんでも相談窓口」において、子どもとその家庭及び妊産婦等を対象として、必要な支援を行う。</p> <p>(2) 「子ども総合相談センター」においては、要支援児童若しくは要保護児童及びその家庭又は特定妊婦を対象とした支援業務について、虐待対応専門員の配置や研修の充実などにより体制の強化を図る。</p> <p>(3) 具体的な業務内容</p> <p>① 子ども家庭支援全般に係る業務(実情把握、情報提供、相談等対応、総合調整)</p> <p>② 要支援児童及び要保護児童等への支援業務</p> <p>③ 関係機関との連絡調整</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	8,943	児童虐待・DV対策等総合支援事業費補助金(1/2)、子ども・子育て支援交付金(1/3)	64
	府支出金	120	子ども・子育て支援交付金(1/3)	74
	地方債	—		
	その他	—		
一般財源		9,325		

担当課	子ども支援課	課長名	新井 秀和	内線番号	2150
-----	--------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 60

事業名	生活保護扶助費				
費目	款	民生費	項	生活保護費	目 扶助費
事業費	1,487,816 千円			予算書	154 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	生活困窮者に対し、必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、自立を支援する。		
	事業の内容		
	施設事務費	35,820 千円	
	生活扶助費	400,726 千円	
	住宅扶助費	196,847 千円	
	教育扶助費	5,063 千円	
	介護扶助費	37,871 千円	
	医療扶助費	801,645 千円	
	出産扶助費	413 千円	
	生業扶助費	6,036 千円	
	葬祭扶助費	2,195 千円	
	就労自立給付金	600 千円	
	進学準備給付金	600 千円	

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	1,101,713	生活保護費負担金(3/4)	62
	府支出金	30,219	生活保護費負担金(1/4)	72
	地方債	-		
	その他	7,236	雑入(生活保護法第63条による返還金)	102
	一般財源	348,648		

担当課	福祉援護	課	課長名	小寺 雅之	内線番号	2101
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 61

事業名	公共施設再生可能エネルギー利活用調査事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	保健衛生総務費
事業費	70,000 千円			予算書	158 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的	<p>公共施設への積極的な再生可能エネルギーの導入により、環境負荷の低減、分散型エネルギー供給拠点の形成、エネルギーの地産地消による新たな地域経済の創出、防災体制の強化を図る。</p> <p>また、建物の規模や用途に合わせた再生可能エネルギー導入モデルを構築し、温室効果ガス及びランニングコスト削減効果の検証を行い、他の施設への展開を図る。</p>
	<p>再生可能エネルギーを利用した空調設備等導入の実現可能性調査及び実施設計を行う。</p> <p>○対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞鶴文化公園体育館 ・中総合会館

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	70,000	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金(定額)	64
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	-		

担当課	資産マネジメント推進 生活環境	課	課長名	岩田 宏幸 大谷 美香	内線 番号	1361 1295
-----	--------------------	---	-----	----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 62

事業名	予防接種事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	予防費
事業費	227,167 千円			予算書	158 頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	予防接種法に基づき、感染症の発生及びまん延を予防するため、乳幼児・児童等に対する予防接種を全額公費負担により実施し、公衆衛生の向上に努める。また、高齢者に対しては、個人の感染予防のため、インフルエンザ及び肺炎球菌予防接種を一部自己負担により実施する。			
事業の内容	いずれも、協力医療機関へ委託して実施 【乳幼児・児童・生徒】 ○ ロタウイルス(生後2か月～14週6日まで) 2回又は3回 ○ B型肝炎(2か月～1歳未満) 3回 ○ ヒブ(2か月～5歳未満) 4回 ○ 小児用肺炎球菌(2か月～5歳未満) 4回 ○ 四種混合1期(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ 二種混合(満12歳) 1回 ○ 不活化ポリオ(3か月～7歳6か月未満) 4回 ○ BCG(5か月～1歳未満)1回 ○ 日本脳炎1期(3歳～7歳6か月未満)3回・2期(10歳～13歳未満)1回 * 積極的な接種勧奨が差し控えられていた期間に接種できなかった方に対する特例措置あり。 ○ 麻しん風しん1期(1歳～2歳未満)1回・2期(小学校入学前の1年間)1回 ○ 水痘(1歳～3歳未満) 2回 ○ 子宮頸がん(中学1年生～高校1年生) 3回 【高齢者】 ○ インフルエンザ(対象者:65歳以上) 個人負担金 1,500円(非課税世帯等は減免あり) ○ 肺炎球菌(対象者:65、70、75、80、85、90、95、100歳) 個人負担金 4,000円(非課税世帯等は減免あり) *過去に、23価肺炎球菌ワクチンを接種した者は対象から除外			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	227,167		

担当課	健康づくり 課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	.6200
-----	---------	-----	-------	------	-------

事業名	健康増進事業					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	78,071千円			予算書	160頁	
				事業区分	新規・拡大 継続	

事業の目的	生涯を通じて健康で生き生きと暮らすことができるよう、病気の早期発見、早期治療並びに生活習慣病の発症及び重症化予防を目的とした各種健康増進事業を実施する。
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 健康教育【事業費：215千円】 糖尿病講演会、歯周病予防啓発等の実施。 健康相談【事業費：114千円】 健康に関する相談の実施。 健康診査【事業費：72,967千円】 <ul style="list-style-type: none"> 後期高齢者（75歳以上）と、40歳以上の生活保護受給者を対象に特定健康診査と同様の健診を実施。（自己負担金 無料） 後期高齢者を対象に人間ドック費用の一部を助成。 75歳の後期高齢者を対象に歯科健診を実施。（自己負担金 無料） 肝炎ウイルス検診【事業費：3,061千円】 過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがない40歳以上の市民を対象とした検診及び陽性者のフォローを実施し、B型C型肝炎の早期発見、早期治療につなげる。 訪問指導【事業費：140千円】 健診後の要指導者等に訪問指導（歯科を含む）を実施し、生活習慣病の発症及び重症化の予防を図る。 歯周疾患検診【事業費：1,574千円】 節目年齢(40、50、60、70歳)の市民を対象に個別方式で実施。

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	4,234	市町村健康増進事業費補助金(2/3)	76
	地方債	-		
	その他	35,935	雑入(保健事業検診個人負担金、後期高齢者医療保健事業補助金、長寿・健康増進事業特別調整交付金)	102
一般財源		37,902		

担当課	健康づくり 保険医療	課	課長名	岸本 昭彦 樋口 誠	内線 番号	6200 2160
-----	---------------	---	-----	---------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 64

事業名	がん検診事業費				
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目 成人保健費
事業費	93,269 千円			予算書	160 頁
				事業区分	新規・拡大・ 継続

事業の目的	40歳以上の市民（子宮頸がん検診は20歳以上の女性）を対象に各種がん検診を実施し、がんによる死亡者数を減少させる。																																									
	<p>【実施するがん検診の内容】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">検診項目</th> <th rowspan="2">対象年齢</th> <th rowspan="2">予定人数</th> <th rowspan="2">検診内容</th> <th colspan="2">受診場所</th> </tr> <tr> <th>医療機関</th> <th>保健センター等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん検診</td> <td>50歳以上</td> <td>2,000人</td> <td>問診・胃X線検診</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>肺がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>4,000人</td> <td>問診・胸部X線検診</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>大腸がん検診</td> <td>40歳以上</td> <td>6,550人</td> <td>問診・便潜血検査</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>40歳以上女性</td> <td>3,450人</td> <td>問診・マンモグラフィ検査</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>子宮頸がん検診</td> <td>20歳以上女性</td> <td>2,950人</td> <td>問診・細胞診</td> <td>○</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【受診率アップのための個別通知】</p> <p>がん検診受診率アップを図るため、封書、はがきなどにより対象となる市民に個別通知を送付する。</p>					検診項目	対象年齢	予定人数	検診内容	受診場所		医療機関	保健センター等	胃がん検診	50歳以上	2,000人	問診・胃X線検診		○	肺がん検診	40歳以上	4,000人	問診・胸部X線検診		○	大腸がん検診	40歳以上	6,550人	問診・便潜血検査	○	○	乳がん検診	40歳以上女性	3,450人	問診・マンモグラフィ検査	○		子宮頸がん検診	20歳以上女性	2,950人	問診・細胞診	○
検診項目	対象年齢	予定人数	検診内容	受診場所																																						
				医療機関	保健センター等																																					
胃がん検診	50歳以上	2,000人	問診・胃X線検診		○																																					
肺がん検診	40歳以上	4,000人	問診・胸部X線検診		○																																					
大腸がん検診	40歳以上	6,550人	問診・便潜血検査	○	○																																					
乳がん検診	40歳以上女性	3,450人	問診・マンモグラフィ検査	○																																						
子宮頸がん検診	20歳以上女性	2,950人	問診・細胞診	○																																						

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	2,885	感染症予防事業費等国庫補助金(1/2)	64
	府支出金	168	市町村休日総合がん検診支援事業費補助金(10/10)	76
	地方債	-		
	その他	3,600	雑入(保健事業検診個人負担金)	102
一般財源		86,616		

担当課	健康づくり 課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	6200
-----	---------	-----	-------	------	------

事業名	健康づくり推進事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	770 千円			予算書	160 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>市民一人ひとりが健康づくりに主体的に取り組めるよう、身近な人と共に楽しく励まし合って、気軽に取り組むことができるウォーキングを推進するとともに、市民や企業、医療機関、各種民間団体などと連携を図りながら、社会全体で市民の健康づくりを支援する環境を整備する。</p>
	<p>1. ウォーキングの推進【事業費：282千円】 健康にリスクを抱え生活習慣の改善が必要な市民を対象としたウォーキング事業の実施。 ①事業所主催の歩王（ウォーキング）事業を支援 健康経営を目指す事業所がウェアラブル活動量計等を活用し、職場内で実施される歩王（ウォーキング）事業をサポートする。 ②働き盛り世代のウォーキング事業の実施 携帯アプリを活用した職場対抗歩王（ウォーキング）事業の実施。</p> <p>2. 市民の健康づくりを支援するための環境整備【事業費：488千円】 ①まい健プロジェクトを推進 ポピュレーションアプローチによる市民の健康づくりを推進するため、市の健康づくり事業に賛同し、主体的に運動継続や減塩の取組みに協力する企業・団体を募集し、その取組みを市民に向けて広く周知する。 ②薬局等でのヘモグロビンA1c等の測定実施に係る補助 市民に身近な薬局等で気軽に健康チェックを受けることができる環境を整備することで、生活習慣の改善や健診受診、医療機関への受療につなげられるよう、実施主体となる薬局に対して測定経費の補助を行う。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	25	雑入(事業参加個人負担金)	102
一般財源		745		

担当課	健康づくり 課	課長名	岸本 昭彦	内線番号	6200
-----	---------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 66

事業名	高齢者の保健事業と介護予防の一体化事業費					
費目	款	衛生費	項	保健衛生費	目	成人保健費
事業費	16,154 千円			予算書	160 頁	
				事業区分	新規・拡大・ 継続	

事業の目的	<p>保健師や歯科衛生士などが、地域の高齢者が集う場において、健康講座や健康相談・訪問指導をきめ細やかに行うことで、生活習慣病などの慢性疾患の悪化や加齢による心身の衰弱（フレイル）を予防し、高齢期になっても、住み慣れた地域で生き生きとした暮らしが続けられる地域づくりを目指す。</p>
事業の内容	<p>【実施方法】 京都府後期高齢者医療広域連合委託事業</p> <p>【実施内容】</p> <p>1. 高齢者が集う場における健康講座・健康相談</p> <p>対象：各地域で実施している「サロンdeすどれっち」実施団体等約100か所</p> <p>内容：フレイル予防に係る普及啓発 簡易質問票や身体・体力測定によるフレイルチェック 口腔機能チェック 低栄養リスクチェック 個別健康相談</p> <p>2. 高齢者に対する個別的支援 通いの場不参加者や健診未受診者など健康状態不明者への訪問指導</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	16,154	雑入(後期高齢者医療保健事業補助金(広域連合))	102
	一般財源	-		

担当課	健康づくり 高齢者支援	課	課長名	岸本 昭彦 小酒 由美子	内線 番号	6200 2140
-----	----------------	---	-----	-----------------	----------	--------------

令和3年度 主な事務事業調

No. 67

事業名	ごみ処理手数料見直し関連事業				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 清掃総務費 塵芥処理費
事業費	296,250 千円			予算書	164 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	<p>本市では、平成17年10月から「可燃ごみ有料化」を実施してきたところであるが、さらなる3Rの推進と環境負荷の低減、適正処理の推進、公平な受益者負担の実現に向け、令和3年7月からごみ処理手数料の見直しを行う。</p> <p>今回のごみ処理手数料の見直しに併せて、ごみ処理に関する市民サービス向上を図るため、ペットボトル・プラスチック容器包装類の月2回収集、高齢者等ごみ出し支援戸別収集を実施する。</p>
	<p>事業の内容</p> <p>○ごみ減量化推進事業費（165,428千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可燃ごみの手数料（指定ごみ袋の販売価格）の値上げ ・不燃ごみのうち、ペットボトル、プラスチック容器包装類、埋立ごみの指定ごみ袋制による有料化 <p>○不燃ごみ収集事業費（123,722千円） （うち、月2回収集による増額分6,370千円）</p> <p>家庭ごみの中でも排出量が多く、家庭での保管スペースが必要となるペットボトルとプラスチック容器包装類について、既存の不燃ごみ集積所で月2回収集を実施。</p> <p>○高齢者等ごみ出し支援戸別収集事業費（7,100千円）</p> <p>自らごみ出しができず、ホームヘルプサービスを利用している高齢者や障害のある人で、一定の要件を満たした人を対象に収集業者による戸別収集を実施。</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	197,761	ごみ処理手数料、雑入(再生品・資源化物等売却代金)	60・102
	一般財源	98,489		

担当課	生活環境	課	課長名	大谷 美香	内線番号	1295
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 68

事業名	次期最終処分場整備事業費				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 塵芥処理費
事業費	601,800 千円			予算書	164 頁
				事業区分	新規・ 拡大 ・継続

事業の目的	現在の一般廃棄物最終処分場が令和3年度中に埋立完了する見込みとなったため、新たな最終処分場の令和3年度中の供用開始を目指す。
事業の内容	<p>●本工事（598,737千円）</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施期間 平成30年度～令和3年度（債務負担行為を設定） <p>■次期最終処分場建設計画</p> <p>平成29、30年度 生活環境影響調査、基本設計、詳細設計 平成30～令和3年度 建設工事 令和3年度 供用開始</p> <p>■規模・整備内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備場所：大波上小字田黒地内（既設埋立地南側） 施設構造：管理型 埋立構造：準好気性埋立構造 構造形式：オープン型埋立地 整備面積：約19,000㎡ 埋立容量：約123,000㎥（覆土含む） 埋立期間：約15年間 <p>■全体事業費：2,020百万円（債務負担行為設定額）</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	85,254	循環型社会形成推進交付金(1/3)	66
	府支出金	-		
	地方債	516,500	清掃債	104
	その他	-		
	一般財源	46		

担当課	生活環境	課	課長名	大谷 美香	内線番号	1295
-----	------	---	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 69

事業名	第一工場整備事業費				
費目	款	衛生費	項	清掃費	目 清掃事務所管理費
事業費	1,248,180 千円			予算書	166 頁
				事業区分	新規・ <u>拡大</u> ・継続

事業の目的	<p>当施設は、平成5年に新設され、平成13年～14年にかけて、ダイオキシン対策により大規模改修を施工したが、令和元年時点で17年を経過し、安定的なごみ処理に支障をきたしてきたため、同年から5ヶ年計画で長寿命化工事を実施する。</p>
	<p>5ヶ年計画の3年目となる令和3年度は、詳細設計に基づき、下記工事を施工する。</p> <p>【設備更新工事】 受入供給設備（投入扉、ごみクレーン） 燃焼設備（投入ホップ、燃焼装置、空冷板煉瓦 等） 燃焼ガス冷却設備（ガス冷却室、ガス冷却用噴射ノズル 等） 排ガス処理装置（ろ過式集じん機） 通風設備（押込送風機、空気予熱器、ガス減温器、風道 等） 灰出設備（焼却灰押出装置、灰クレーン、異物除去装置 等） 電気設備（動力・現場制御盤部分更新） 計装設備（電油操作器、4成分分析計 等）</p> <p>【全体計画】 ○整備期間：令和元年度から令和5年度まで ○全体事業費：3,800百万円（債務負担行為設定額）</p>

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	624,087	防衛施設周辺民生安定施設整備事業費補助金(5/10)	66
	府支出金	-		
	地方債	624,000	清掃債	104
	その他	-		
	一般財源	93		

担当課	清掃事務所	課長名	田中 洋一	外線番号	63-1614
-----	-------	-----	-------	------	---------

事業名	救急医療体制の確保に向けた取り組み					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	88,214 千円			予算書	172 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	休日の救急輪番制の実施や市内公的3病院（舞鶴医療センター、舞鶴共済病院、舞鶴赤十字病院）の救急医療体制への支援、休日急病診療所の運営を行うことにより、市民が安全・安心に暮らすことができる救急医療体制の確保を図る。		
事業の内容	1. 休日救急輪番制事業費 26,068千円 市内公的3病院の協力を得て、休日救急輪番制を委託実施。 ・診療体制：公的3病院による輪番体制 ・診療日：休日（日曜日・祝日・年末年始） ・診療科目：内科、外科の一次・二次救急医療、小児科の一次救急医療 2. 公的病院救急医療体制確保事業費補助金 45,000千円 平日夜間、土曜日、輪番日以外の休日（平常診察時間外）における救急医療体制の確保に対して支援。 ・補助対象者：公的3病院 ・補助対象経費：平常診察時間外における救急患者への対応に要する経費 ・補助率：1/3（上限額1,500万円/病院） 3. 舞鶴市休日急病診療所管理運営経費 17,146千円 舞鶴医師会等の協力により運営している「舞鶴市休日急病診療所」において、休日の一次救急（内科系の病状で比較的軽い方への応急的対応）を担うことにより、公的病院の救急医療に従事する勤務医の負担を軽減。また、二次救急（入院や手術が必要な重症者に対応）が必要と判断される場合は、輪番病院と連携して対応。 令和3年度にマイナンバーを健康保険証として利用するオンライン資格確認に係るシステム整備を実施 ・診療日：毎週日曜日 ・診療時間：午前9時～12時、午後1時～午後5時 ・診療科目：内科 ・診療内容：病状の比較的軽い方に対する応急的診療 ・診療体制：医師（舞鶴医師会及び舞鶴市民病院）、薬剤師、看護師		

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金			
	府支出金	7,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	6,611	休日急病診療所収入、診断書交付手数料、雑入（保険医療機関等向け医療提供体制設備整備交付金）	56・60・102
	一般財源	74,103		

担当課	地域医療課	課長名	松本 真俊	内線番号	2467
-----	-------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 71

事業名	地域医療の充実に向けた取り組み					
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目	医療対策総務費
事業費	22,200 千円			予算書	172 頁	
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>	

事業の目的	<p>医学生等に対する奨学金の貸付等により、医学生や研修医に本市の良さや魅力を知ってもらい、将来における本市での勤務及び定着化を図る。 また、本市をはじめとする府北部地域に共通する医療課題について、京都府立医科大学と共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。</p>			
	<p>1. 舞鶴市地域医療確保奨学金等貸付金 9,000千円 医学生、研修医を対象に月額15万円を貸与（5名） ※市内医療機関での勤務など一定要件による返還免除の規定あり</p> <p>2. 「地域医療の充実」共同研究事業費 13,000千円 人口減少、少子高齢化といった共通の社会的課題を有する府北部地域において、医師の不足や診療科の偏在といった医療課題について、京都府立医科大学と舞鶴市が共同で研究に取り組み、地域医療の充実につなげる。 研究で得られる成果は、地域に還元し、安心して暮らせる社会の構築を目指す。 ・研究テーマ「府北部地域における周産期医療の充実に向けて」</p> <p>3. 医師・医学生研修支援事業費 200千円 (1) 京都府立医科大学の5年生を対象とした、地域の医療機関での研修（臨床実習課程）において、研修先医療機関と連携し、この研修の充実が図られるよう各種支援を行い、将来の医師確保につなげる。 (2) 京都府及び京都府立医科大学が実施する、在宅医療を目指す勤務医師（40～50代）を対象とした在宅医療対応研修プログラムの参加者（市内の医療機関での研修）への支援を連携して行い、市内での定着につなげる。</p>			

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	6,500	きょうと地域連携交付金(1/2)	76
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	15,700		

担当課	地域医療	課	課長名	松本 真俊	内線番号	2467
-----	------	---	-----	-------	------	------

事業名	病院事業会計補助金				
費目	款	衛生費	項	医療対策費	目 病院費
事業費	225,900 千円			予算書	172 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>市内各公的病院が医療機能の充実を図り、互いの連携体制を強化する中で、慢性期医療を担う市民病院及び地域唯一の医療機関である加佐診療所の経営を支援することにより、地域医療の充実・確保に努める。</p>			
	事業の内容	<p>1. 病院事業会計補助金（病院分） 182,328千円 市民病院の運営に要する経費、企業債元利償還金に対する支援。</p>		
<p>2. 病院事業会計補助金（診療所分） 43,572千円 加佐診療所の運営に要する経費の一部に対する支援。</p>				
財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	-		
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	225,900		
担当課	財政課	課長名	芦田 みゆき	内線番号 1380

令和3年度 主な事務事業調

No. 73

事業名	JMU関連事業所支援事業費					
費目	款	労働費	項	労働諸費	目	労働諸費
事業費	700 千円			予算書	174 頁	
				事業区分	新規・拡大・継続	

事業の目的
 JMU舞鶴事業所の商船部門撤退に伴い、今後、商船建造に関わる業務が減少するJMU構内協力会社をはじめとする関連会社に対し、他業務へ転換するために必要な資格取得等の経費について支援することで、雇用の維持と市内経済の安定を図る。

事業の内容
 他業務へ転換するために必要な資格取得に係る経費の補助
 ・対象となる経費：資格取得の試験・講習料
 (例) ・TIG溶接資格(※) 他
 ※ ステンレスや非鉄金属(アルミニウムなど)の溶接に採用される電気溶接の工法
 ・補助率：3/4ほか

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	350	地方創生推進交付金(1/2)	66
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	350		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------

令和3年度 主な事務事業調

No. 74

事業名	地元就職・転職支援事業費				
費目	款	労働費	項	労働諸費	目 労働諸費
事業費	1,460 千円			予 算 書	174 頁
				事業区分	新規・拡大・ <u>継続</u>

事業の目的	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により本市においても有効求人倍率が減少している中、市民（一般、学生）や移住希望者等の舞鶴での就職を促進するため、市内事業所の就職フェアを開催するとともに、市外に転出している大学生等と市内在住の親（家族）の双方に対し、地元就職に繋がる情報を提供し就職フェア等へ参加を促すことで、若年層の地元就職を実現し、まちの安定的発展を目指す。</p>
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ① 年3回の就職フェア（まいづる夏の就職フェア、舞鶴市・高浜町・おおい町合同就職フェア、春のまいづる就職フェア）の開催 ② 「京都府北部7市町合同就職面接会」への参加 ③ 就職フェアにおいて、インターシップ説明会を同時開催 ④ 「企業採用担当者のための採用力アップセミナー」の開催

財源内訳	区分	金額(千円)	歳入名称(補助率等)	予算書
	国支出金	730	地方創生推進交付金(1/2)	66
	府支出金	-		
	地方債	-		
	その他	-		
	一般財源	730		

担当課	産業創造・雇用促進 課	課長名	松岡 幸治	内線番号	1212
-----	-------------	-----	-------	------	------